

博物館における IPM のこれから

文化財の生物被害対策は、文化財の殺虫燻蒸剤として長らく使用されてきた臭化メチルがオゾン層破壊物質に指定されたことを受け、2005年をもってその使用が禁止され、大きな転換期を迎えました。そして、博物館の分野では、生物被害を未然に防ぐための方法として IPM (Integrated Pest Management ; 総合的有害生物管理) が広く提唱され、多くの博物館において、その導入が進められてきています。

九州国立博物館は、その建設当時から現在に至るまで、IPM を軸にした保存管理体制を築き上げ、博物館における IPM の先進館として国内外の博物館から注目されている博物館です。それは、開館 10 年を経た現在においても変わることはありません。

そこで、本シンポジウムでは、これまで実践されてきた博物館における IPM 活動について振り返るとともに、より効果的なこれからの博物館の IPM について明らかにします。

2017年4月8日[土]

13:00~16:40

会場：九州国立博物館ミュージアムホール
(福岡県太宰府市石坂 4-7-2)

[定員] 250名

要事前申し込み 定員になり次第締め切らせていただきます

主催：一般社団法人文化財保存修復学会

共催：九州国立博物館

後援：国宝修理装飾師連盟、日本文化財科学会、
文化庁、読売新聞社

プログラム

12:00 開場

13:00—13:05

開会のご挨拶 島谷弘幸 (九州国立博物館長)

13:05—13:20

趣旨解説

博物館における IPM について
三浦定俊 (文化財保存修復学会理事長)

13:20—14:00

基調講演

九州国立博物館の IPM
本田光子 (文化財保存修復学会副理事長)

14:00—14:10

休憩

14:10—14:30

博物館における IPM の実践
木川リカ (九州国立博物館)

14:30—14:50

三重県総合博物館における IPM
間淵創 (三重県総合博物館)

14:50—15:10

正倉院における IPM
高畑誠 (宮内庁正倉院事務所)

15:10—15:30

休憩

15:30—16:30

パネルディスカッション

これからの博物館における IPM
パネラー：木川リカ、間淵創、高畑誠
コーディネーター：日高真吾 (国立民族学博物館)

16:30—16:40

閉会のご挨拶 三浦定俊



三浦定俊 (みうら さだとし)

公益財団法人文化財虫菌害研究所理事長。
東京大学卒業、東京藝術大学大学院修了(保存科学専攻)、東京国立文化財研究所保存科学部研究員、保存科学部長等を経て副所長。2009年から現職。一般社団法人文化財保存修復学会理事長。保存環境づくりの観点から文化財IPMの研究と普及を進めている。著書に「文化財保存環境学(第2版)」(朝倉書店、2016)



本田光子 (ほんだ みつこ)

東京藝術大学大学院美術研究科保存科学専攻修士課程修了。九州歴史資料館、福岡市埋蔵文化財センター、別府大学文化財学科教授を経て、2003年より九州国立博物館設立準備室、2005年開館時に博物館科学課長、2012年特任研究員。2011年には「よみがえる国宝—守り伝える日本の美—」により、曝涼からIPMまで日本の文化財保存の歴史を辿る特別展を担当。退職後は文化財保護行政の隙間を埋める活動の御手伝をしたい。



木川りか (きがわりか)

九州国立博物館学芸部博物館科学課長。
東京大学理学部生物化学科、同大学院博士課程修了後、1993年より当時の東京国立文化財研究所保存科学部に勤務。文化財の生物被害対策に関する研究を22年間担当したのち、2015年10月より九州国立博物館にて勤務中。



間瀬 創 (まぶち はじめ)

三重県総合博物館展示・資料情報課学芸員。
東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了後、東京文化財研究所客員研究員、東京藝術大学助手などを経て、2011年より現職。博士(文化財)。保存環境の計測と制御を専門とし、特に博物館におけるカビのモニタリングや調査方法について研究をおこなっている。また所属においては、収蔵・展示環境管理の一環としてIPMを実施している。



高畑 誠 (たかはた まこと)

宮内庁正倉院事務所保存課保存科学室員。
奈良大学文学部文化財学科卒業。愛媛大学大学院農学研究科修士課程修了。イカリ消毒株式会社を経て、2016年より現職。専門は保存科学。生物被害による文化財の劣化原因の究明及び予防を中心に、収蔵環境についての調査研究をおこなう。



日高真吾 (ひだかしんご)

国立民族学博物館准教授。
元興寺文化財研究所研究員を経て、2002年より現職。博士(文学)。民俗文化財の保存修復方法、博物館における資料保存に関する研究をおこなう。主な著書、編著書に、『女乗物—その発生経緯と装飾性』(東海大学出版会、2008)、『記憶をつなぐ—津波災害と文化遺産』(千里文化財団、2012)、『災害と文化財—ある文化財科学者の視点から』(千里文化財団、2015)がある。

実行委員

[委員長] 三浦定俊(文化財保存修復学会理事長) [副委員長] 日高真吾(国立民族学博物館) [委員] 荒井経(東京藝術大学)、和田浩(東京国立博物館)、木川りか(九州国立博物館)、秋山純子(九州国立博物館)、志賀智史(九州国立博物館)
[事務局] NPO法人Knit-K(代表:西岡圭司)

申し込み方法

下記、E-mailもしくはFAXにて必要事項記入のうえお申し込みください。
E-mail: bunkazai2017@knit-k.com
FAX: 075-320-2658 (NPO法人 Knit-K 西岡宛)

申し込み時
必要事項

- ・氏名(ふりがな)
- ・連絡先住所(勤務先・自宅)
- ・電話番号 ・FAX番号 ・E-mailアドレス
- ・所属(勤務先もしくは学校名)
- ・文化財保存修復学会(会員・非会員)

※参加申し込みにてご提供いただきました個人情報は、本シンポジウムの受付と統計・分析および関連イベントのご案内以外には使用いたしません。

FAX申し込み書 [075-320-2658]

氏名(ふりがな)

文化財保存修復学会 [会員 ・ 非会員]

連絡先住所 [勤務先 ・ 自宅] 〒

電話番号

FAX番号

E-mail アドレス

@

所属(勤務先もしくは学校名)